

事業所名

児童発達支援センターくれよん
(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

令和6年

9月

18日

| | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|-----|-----|---------|---------|---|
| 法人（事業所）理念 | | こどもたちの可能性を最大限に引き出し、未来を自分で切り開く力を育みます | | | | | |
| 支援方針 | | こども達が安心して成長できる環境を提供し、家族や地域社会と協力して支援を行います ①情緒の安定を支える環境作り ②自立を促す経験の提供 ③将来に希望をもてる支援 ④家族との連携と支援 ⑤地域との協力 | | | | | |
| 営業時間 | | 8時 | 30分 | 17時 | 30分 | 送迎実施の有無 | あり 学校から事業所まで |
| 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | (子どもの生活リズムを大切に、健康・安全で情緒の安定した生活ができる環境や自己を十分に発揮できる環境を整えることを大切にしています。そして、経験・体験を通して、食事・排泄などの身のまわりのことができるようにしています。) ピクニック、リズム体操、ラジオ体操、お掃除 | | | | | |
| | 運動・感覚 | (子どもの成長は、「遊び」を通して促されることから、遊びの中から身体全体、細かい動き、感覚面の発達を促します) 水あそび、乗馬体験、歩行 | | | | | |
| | 認知・行動 | (一人一人の子どもの発達や障害の特性について理解し、発達の過程に応じて自己を十分に発揮できるよう支援を行っています) 構造化、クッキング、感覚あそび、レクリエーション | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | (子どもが安心感と信頼感をもって活動し、主体的に思いや願いを伝えられ、受け止める支援を行っています。また、発語だけに限定されないコミュニケーション能力の向上、自己選択、自己決定ができる子どもを育てます) おやつ作り、レクリエーション、ことばあそび | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | (子どもの相互関係づくりやお互いに尊重する心を大切に、集団における活動を小集団で発揮できるようにしています) ルールのある遊び、買い物体験、交通教室 | | | | | |
| 家族支援 | | ペアレント・プログラム 就学勉強会、保護者参観 関係機関、施設見学の計画・同行 | | | 移行支援 | | 小学校、一般施策の子育て支援、また福祉サービスなどへの移行支援 |
| 地域支援・地域連携 | | 学校と連携、他事業所との交流 警察署（交通教室） | | | 職員の質の向上 | | 法人内研修、佐賀県知的障害者福祉協会主催研修 佐賀県社会福祉協議会主催研修 各団体の研修会への参加 佐賀県障害福祉課主催研修、介護福祉士などの国家資格受講 |
| 主な行事等 | | まつら祭、ハロウィン祭り、クリスマス会、餅つき、節分行事、避難訓練 | | | | | |

5領域をまたいでの活動の提供を実施しています